



令和4年度北上小学校 校長室の窓から

北上をわたる風

【目指す児童像】

- 思いやる子ども
- よく考える子ども
- きたえる子ども

令和4年12月15日（木） No. 8 石巻市立北上小学校 校長 伊藤 礼子

1年の締めくくりの時期です

12月6日（火）は、5年生が恒例のヨシ刈り体験をしました。雪が降り、ぬかるむ足元や濡れた軍手の冷たさに苦労しながらの作業でしたが、最後には束ねたヨシで来年の干支「卯」の文字を完成させることができました。刈ったヨシが自分たちの卒業証書になること、そして、これまでの先輩たちと同じ体験をしたことが、5年生の児童にとって、来年度の最上級生としての出発点になったように感じました。この活動を支えてくださっている関係者の方々に、深く感謝申し上げます。

また、2日（金）の学習参観と懇談会には、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。どの学年でも、子どもたちの成長の様子をご覧いただけたことと思います。世界の急激な変化に伴い、未来を生きる子どもたちに求められる学びの姿も急激に変化してきています。我々大人も、自分たちの学び方のイメージを更新して、子どもと接していかなければなりません。学校とご家庭が同じ意識を



て、子どもたちの学びを支えていけるよう、今後ともよろしく願いいたします。さて、来週末には第2学期の終業式です。学校での学びの姿は変わっても、1年の締めくくりとして自分の生活を振り返り新年の目標をもつことや家庭の一員として年末年始の慣わしに参加することは、掛け替えのない経験です。ぜひご家庭で豊かな経験をさせていただきたいと思います。

【12月の「お話朝会」から(要旨)】

「きく」には、3つのレベルがあります。

レベル1の「聞く」は、「鳥が鳴いてるなあ。」というように自然に音が耳に入って来る「きく」です。レベル2は「聴く」。「耳」と「心」が付いているように、相手に注意を向け、分かろうと思ってきくことです。レベル3は「訊く」です。相手の話を受け止めて、更に質問したり内容を自分の言葉にして確かめたりすることです。

「聞く」は赤ちゃんにもできますが、「聴く」「訊く」は練習が必要です。相手を分かろうとする「聴く」「訊く」ができると、話す人は安心して話せます。進んで話すことができます。上手に「きく」ことは、やさしさでもあるのです。

2学期も残り少なくなりましたが、みんなで「きき上手」になって、教室を安心してたくさん勉強できる場にしていきましょう。



新しいチャレンジ！一歩成長しました！



<12/6 5年ヨシ刈り体験>
見慣れたヨシが、近くで見ると自分の身長の数倍以上あることにびっくり。鎌の使い方も上達しました。

5年生のヨシ刈りの様子は、NHK「てれまさむね」で放映されました。ニュース映像は、NHK仙台放送局「てれまさむね」HPの「過去のエピソード（12月6日）」で見られます。また、別の動画が「てれまさむね」のツイッターでも紹介されています。



<12/14 石巻市標準学力調査>
全校児童が国語と算数の問題に取り組みました。1年生も今回から参加。いつものテストとは違う冊子型の問題に挑戦！